

## 合格体験記

### 合格体験記

## 「大学はゴールではない！」

大木 千加 IEC

(慶應義塾大学総合政策学部総合政策学科)



### 毎日の出会いがチャンス

「毎日が新たな出会いと学びのチャンスであり、学ぶことに何一つ無駄はない」。これを私は皆さんに一番にお伝えしたいです。なぜなら、自分の将来を開拓していくうえで、困難に直面した時でも、自分の学びの積み重ねが支えとなり、解決へと導いてくれるからです。学びは、教科書や本から受けるだけではありません。たくさんの人々と出会い、会話をしながら学ぶことができます。習いごとや、部活動、散歩、食事など、普段は特に、何も意識せずこなしていることの中からも、学ぶことはたくさんあります。人と人との関わりを大切に、たくさんの方のことを学んでいってください。新たな発見をすれば、感動したり、怒りをおぼえたり、様々な感情が心に芽生えます。その心の変化に向き合いながら、自分の興味ある道を選び進んでいくことが進路を決める時の大切なポイントとなると感じています。

### 出会いが進路選択のきっかけに

実際に、私は、当初決めていた自分の進路にある出会いとともに見直すことになりました。中学生の時から高校1年生の時まではバレエや歌などが大好きだったので、将来はミュージカル俳優になりたいと決めていました。しかし、高校2年生の時に、内閣府主催の「アジア青年の家」に参加したことが進路を見直すきっかけとなりました。世界の水問題について、アジア・オセアニア地域から集まった仲間たちと勉強し、話し合ううちに、心は「国際問題」に奪われていきました。私が大好きだった踊りや歌も、その「国際問題」解決のために役に立っていきなれないかと思うようになりました。なぜなら、踊りや歌は自分を表現するための手段であるのと同時に、英語や日本語のように他者とコミュニケーションを図るための手段でもあるということ、実際に実践して感じたからです。それからというもの、私の踊りや歌を、舞台上で「魅せる」ものではなく、コミュニケーション手段の一つとしたいと思うようになりました。この出会いと心の変化をきっかけとして、私は大学進学を決めました。

### 不安や苦手も自分の糧に

大学に進学しようと決めたものの、「勉強」に対する大きな不安を感じ始めました。学校が終わればレッスンに直行し、帰宅後も寝るだけで、しっかりと勉強したのも定期テストの前だけというそれまでの生活を振り返ると、大変だと言われている受験勉強をこなしていくことができるのか、とても心

配でした。そして、自分のやりたいことが「途上国の開発」であると明らかになっていく中で、苦手な数学を克服しなければならぬという現実も突きつけられました。しかし、私の心の中にはいつも「やってみなければわからない」という気持ちがありました。受験勉強も苦手な教科の克服も、あきらめずに挑戦することを決意しました。数学は自分でたくさん問題集を解きました。わからないところは、あやふやにせず、数学科の先生に質問したり、数学が得意な友だちに教えてもらったりして続けていきました。その結果、模試の成績で一番の変化があったのが、苦手な数学でした。あきらめなければ、道は必ず開かれるということを実感しています。

### 目標を持って受験生活スタート

少しずつの進歩を感じながらも、高校3年生になり、進路を具体的に決める時がきました。私は、様々なAO入試方式がある慶應義塾大学の総合政策学部(SFC)を受験することと、国立大学を1校受験することを目標に定めて、高校3年生の生活をスタートしました。工夫をしたのは、勉強時間の配分です。AO入試では作文と、プレゼンテーションを含む面接を予定していたので、普通の勉強とは異なり、自分が興味のある分野についても勉強を進めていく必要性がありました。そこで、朝は国立大学受験のために勉強し、夜はAO対策を進めるというように、勉強時間を決めました。朝は3:30ごろに起きて勉強を始め、学校に行っても自習室で勉強しました。朝は静かで、空気もさわやかなので、気持ちよく勉強することができます。センター試験や入試も朝から始まったので、早めに朝方に切り替えてよかったと思っています。学校と塾を終えて帰宅してからは、本を読んだり、テレビ(世界のニュースやドキュメンタリー)を見たりしてAOの勉強をしていました。また、週末を利用して国際交流センターに行き、講演を聞いたり、情報収集をしたりしました。自主勉強はとても大切なことですが、最も重要なのは毎日の授業と定期試験です。1つ1つの授業に集中して、歴史や社会科目、古典の文法などはなるべく授業内で覚えるようにして、定期試験の時にまとめのノートを作っておくと効率が良いと思います。

### 合格がスタート地点！

受験を終え、改めて思うことは、大学に入学することが「ゴール」ではないということです。受験のためだけに勉強するのではなく、大学入学後やその後の将来のことを考えながら貪欲に学んで勉強を楽しんで下さい。それらの積み重ねはきっと皆さんの力となると思います。最後まで諦めずに、がんばって夢をつかみとってください!!